**中野区文化施設
指定管理業務要求水準書**

**2025年（令和7年）6月
中野区 区民部 文化振興・多文化共生推進課**

目次	
1 趣旨	3
2 指定管理対象施設の概要	3
3 施設の設置目的	3
4 施設の運営、管理に関する業務の基準	3
(1) 組織体制及び従業員配置等	3
(2) 施設の運営に関する業務	3
(3) 施設利用許可等に関する業務	3
(4) 施設の管理等に関する業務	4
5 文化施設における各種事業等に関する業務の基準	5
(1) 指定事業	6
(2) 自主事業	9
(3) その他の業務	9
6 留意事項	10
(1) 施設の運営に関する留意事項	10
(2) 緊急時の対応	11
(3) 環境への配慮	11
(4) 高齢者及び障害者の雇用促進並びに 障害者就労施設等からの物品等の調達の推進への配慮	11
(5) 高齢の方、障害のある方、日本語を母語としない方への配慮	11
(6) 不当な差別的取扱いの禁止および合理的配慮の提供	11
(7) 施設賠償責任保険等の加入	12
(別紙1) 文化施設の概要	13

中野区文化施設業務要求水準書

1 趣旨

本要求水準書は、中野区文化施設の指定管理者の公募にあたり、施設の業務の内容及び履行方法について定めるものとします。

2 指定管理対象施設の概要

(別紙1) 文化施設の概要のとおりです。

3 施設の設置目的

中野区の文化の振興と区民の生涯学習の推進を図り、また、区民に文化活動や芸術鑑賞等の場を提供し、地域文化の振興を図ることを目的としています。

4 施設の運営、管理に関する業務の基準

(1) 組織体制及び従業員配置等

- ① 施設の指定管理業務に関して統括的に責任を負う、常勤の統括責任者を1名、統括責任者と同等の能力を有する副統括責任者を1名以上、および維持管理に関する責任者を1名配置し、中野区の施設の専任とします。

また、指定管理業務を適切に実施できる組織体制を整備するものとします。

- ② 指定管理業務を適切に実施するために必要な従業員を確保し、各組織に配置するものとします。
- ③ 従業員に対して研修を実施し、施設の指定管理業務に必要な知識と技術の習得に努めるものとします。

(2) 施設の運営に関する業務

① 開館時間

文化施設の開館時間は(別紙1)文化施設の概要のとおりです。

② 休館日

文化施設の休館日は(別紙1)文化施設の概要のとおりです。

③ 利用者意見の把握

利用者ニーズの把握に努め、利用者の意見・要望等を管理運営に反映させるものとします。

④ 報告書の作成

毎日、施設管理にかかる日報を作成し、管理施設において保管します。

⑤ プラネタリウムの運営

ア 一般投映を実施します。入場料金は、指定管理者の利用料金収入になります。

イ 区内の保育園、幼稚園、小・中学校からの申込みがあったときは、学習投映を無料実施します。

ウ 一般投影・学習投影のほか、プラネタリウムの魅力を発信する事業を実施します。

エ 現在使用しているプラネタリウム投影機の耐用年数は、メーカーによると超過しているとされています。万が一、指定期間途中で故障した場合について、部品交換等により最善を尽くすとのことですが、修理不可能の場合もあります。なお、使用可能の間は通常運営とし、イベント等の企画・立案・実施もしていただきます。故障した際は別途協議することとします。

(3) 施設利用許可等に関する業務

- ① 施設利用に伴う団体登録に関する事
- ② 施設及び付帯設備の使用申請の受付及び承認書の交付に関する事
- ③ 施設使用の変更・取消の受付及び取消承認書の交付に関する事
- ④ 利用料金の徴収に関する事
- ⑤ 利用料金の減額及び免除に関する事
- ⑥ 利用承認の変更又は取消における利用料金の返還に関する事

※施設利用に関する手続きは「中野区施設予約システム」により行います。

- ・登録団体等が行う手続き
施設の空き状況の照会、抽選の申し込み、抽選結果の確認、予約の申し込み・取消、予約内容の照会と取消、抽選後の空施設の申し込み等
- ・指定管理者が行う処理
登録団体等のデータ入力、入金・還付処理、各種統計資料の作成等

(4) 施設の管理等に関する業務

① 施設の管理に関する業務

- ア 開館、戸締りに関する事
  - (ア) 開館、閉館時の開錠、施錠等
  - (イ) 照明・空調機器等設備の運転・停止
- イ 施設の貸出に関する事
  - (ア) 鍵の保管・管理
  - (イ) 利用者への鍵の受渡し
  - (ウ) 利用者からの報告書受領
- ウ 施設の貸出に伴う点検に関する事
  - (ア) 備品等利用状況確認
  - (イ) ごみ処理
  - (ウ) 時間超過者への対応
- エ その他、施設等の管理に関する事
  - (ア) 施設設備に関する軽微な小破補修
  - (イ) 電球交換等不具合箇所の調整

② 利用者サービス等に関する業務

- ア 施設案内に関する事
  - (ア) 館内の案内
  - (イ) 事業案内
  - (ウ) 各種問い合わせに対する対応
- イ 施設利用者への対応に関する事
  - (ア) 施設利用者事前打合せ日程調整
  - (イ) 設備・備品の利用方法の指導
- ウ 要望や苦情、トラブル等への対応に関する事
- エ 館内事故等の対応に関する事
- オ 駐車場利用調整に関する事

③ 保守管理業務、環境維持管理業務等

保守管理業務、環境維持管理業務等については、(別冊)「中野区文化施設維持管理業務基準」に現行の実施内容を示しています。

④ 施設の管理に関する留意事項

- ア 条例で指定管理者の業務と定めている業務以外で使用する場合の取扱い
公衆電話などを設置する場合は、目的外使用許可申請等、中野区が指定する諸手

続を行うこととします。

自動販売機の設置は、平成25年度より地方自治法238条の4第2項の規定により行政財産の貸付方法に移行しており、区による契約が行われる予定です。

なお、目的外使用許可を受けている使用者（中野区国際交流協会等）とは、防災等の面で協力して施設管理を行うこと。また、目的外使用許可を受けたものの施設使用にともなう光熱水費等を中野区に毎月報告することとします。

イ 第三者への業務の委託

指定管理者は、清掃や設備の保守点検等個別の業務を中野区と協議のうえ第三者に委託することができるものとします。ただし、管理業務の全部を第三者に委託することはできません。

ウ もみじ山文化センターの維持管理業務

本館地下1階及び地下2階には中央図書館があり、現在、他の指定管理者による運営が行われています。この中央図書館の施設維持管理業務も含みます。なお、中央図書館は平成25年度より指定管理者による運営に移行し、現在、第3期目（令和3年4月～令和8年3月）の期間中です。また、令和8年4月より第4期目が開始する予定です。

また、本館2階のアトリエ DONGURI の維持管理業務を行うこととします。

このほか、紅葉山公園側に機関車が展示されています。このエリアは、もみじ山文化センターの敷地内にあり、日常清掃、防犯管理などの維持管理業務は文化施設指定管理者の業務とします。

なお、西館1階事務室窓側の部分と1階倉庫(クローク)の一部と、地下1階ロッカー室2を中野区が専用で使用します。

エ 野方区民ホールの維持管理業務

野方区民ホールは、住宅、店舗、公益施設からなる複合施設の中にあります。野方区民ホール部分のほか、公益施設である野方区民活動センターの設備保守点検、清掃、及び管理業務を含むこととします。

オ なかの芸能小劇場の維持管理業務

芸能小劇場が入る建物「中野区社会福祉会館」全体の施設管理は、現在、指定管理者（中野区社会福祉協議会）が行っています。文化施設指定管理者は、当該建物劇場エリアの維持管理業務を行い、また中野区社会福祉会館指定管理者と連絡を密にし、劇場運営に支障がないよう協力することとします。

カ 開館日以外の対応

もみじ山文化センター・野方区民ホールの管理については、中央図書館指定管理者職員の出勤日・中野野方五郵便局ATM対応のため、開館日以外にも実施する必要があります。

キ 中長期修繕（更新・保全）計画への協力

文化施設の長寿命化対策と円滑な運営のため、現場施設を管理する指定管理者として、中長期的な視点から必要と考えられる修繕（更新・保全）計画を中野区へ助言・提案することとします。

5 文化施設における各種事業等に関する業務の基準

前述の通り中野区の文化施設は、中野区の文化の振興と区民の生涯学習の推進を図り、また、区民に文化活動や芸術鑑賞等の場を提供し、地域文化の振興を図ることを目的としています。

なお、以下の項目を踏まえたうえで事業を実施することとします。

●アウトリーチ事業の強化

他の区有施設や民間施設（中野サンプラザ前広場など）での開催あるいは他の催しと連動した企画を実施すること

●利用者や区民等のニーズの分析

社会的なトピックや区内イベント、施設予約目的等をもとに利用者や区民等のニーズの分析を行い事業に反映すること。有効な情報収集の方法についても検討すること。

●区の方針に沿った事業の展開

「中野区基本構想」「中野区基本計画」「中野区文化芸術振興基本方針」に則り実施すること

文化施設における業務は以下のとおり分類します。

●【指定事業】：実施を義務付ける業務です。経費については、区からの指定管理料をはじめ、利用料金収入、また、参加費等の指定事業収入の中で算定します。

●【自主事業】：施設の設置目的内で、内容を自主的に決定する業務です。経費の負担等は、指定管理者で行います。

上記の事業分類を踏まえた業務は以下のとおりです。

(1)【指定事業】

① 文化芸術事業

ア 区民フェスタ

(ア) 文化展

もみじ山文化センター（なかのZERO）を利用し活動している団体の日頃の成果を発表する場を設け、活動を支援するとともに、広く区民が文化・芸術に親しむ機会とすることとします。開催までの準備・当日の運営・撤収については、参加団体及び参加者と協力して行うこととします。

※参考（過去に実施した事例）

- ・ 絵画、書道、華道、手工芸等、創作活動の展示及びイベント
- ・ コーラス発表会
- ・ 区民芸能祭

(イ) 創作活動発表会

日本の伝統文化・芸術活動の振興を図るとともに、広く区民が身近な場所で文化芸術に親しむことが出来る機会を提供することとします。開催までの準備・当日の運営・撤収については、参加団体及び参加者と協力して行うこととします。

※参考（過去に実施した事例）

- ・ 民謡民舞大会
- ・ 吟剣詩舞道大会
- ・ 邦楽演奏会
- ・ 日本舞踊大会
- ・ 珠算競技大会

(ウ) 公募による区民活動発表会

区内で活動する学校サークルや団体等を対象に出演団体を公募し、文化芸術活動の発表と交流の場をつくり、さらに、多世代・他団体がつどい、ネットワークを構築することで、自主的な文化芸術活動につなげる支援を行うこととします。開催までの準備・

当日の運営・撤収については、参加団体及び参加者と協力して行うこととします。

※参考（過去に実施した事例）

- ・なかのZEROライブ・フェスティバル
- ・和太鼓フェスタ

イ 大学との文化交流事業

大学との文化交流事業を実施すること

ウ 区民が主役の文化芸術活動の活性化と支援

区民の創作活動を促進し、また、活動の成果発表の機会（場）を提供すること
社会教育団体をはじめとした区で活動する団体や個人との協働や連携を図ること

エ 文化芸術を体験できるイベントの充実

区民が文化活動を始めるきっかけや活動をより高める文化体験事業を実施すること

オ 文化と芸術の力を生かした子どもたちなどの次世代育成

子ども向けの質の高い鑑賞事業（年2公演以上）、乳幼児を参加対象とした音楽鑑賞事業（年1公演以上）を実施すること

カ まちなかどこでも気軽に文化芸術を鑑賞できる環境づくり

区民が身近に音楽に触れられる芸術振興事業、区民の文化振興に寄与できる文化芸術の鑑賞事業を提供することとします。

音楽鑑賞事業については、児童館をはじめとする区民が身近な施設で気軽にクラシックに触れられる機会となるよう、必ずクラシックコンサートをジャンルとして盛り込むこととします。

キ 中野区らしい文化の継承と発展

中野区らしい文化の継承と発展に寄与できる事業を実施すること

ク 障害者など多様な参加者を対象とした事業

ケ 身近に気軽に文化・芸術に親しみ、つながりが生まれる機会の創出

アトリエ DONGURI を活用し、区民が身近に気軽に文化・芸術に親しみ、つながりが生まれる機会を創出するよう主に以下事業を実施することとします。

- a) 作品の展示や自由に創作を行えるようなオープンスペースを設けること
- b) 親子が楽しめるワークショップやイベントを実施すること

コ プラネタリウムを活用した事業

区民を対象としたプラネタリウムの新たな魅力を発信する事業を中野区と協議のうえ、実施することとします。

なお、次の事項に配慮して実施することとします。

- a) 一般の利用とのバランスを考慮して日程等を調整すること
- b) 公演事業は、区民に芸術文化鑑賞の機会を広く提供するとともに、開催する文化施設の設置目的を考慮し、その特性を活かしたものとすること
- c) 幅広い年齢層を対象とした企画をすること

d)公演等、提供事業のジャンルは偏ることなく、幅広く企画し、区民が様々な文化芸術の世界に触れることが可能となるような企画をすること

② 生涯学習事業

ア プラネタリウムの投影

主に以下の業務を行うこととします（当要求水準書4（2）⑤「プラネタリウムの運営」も参照のこと）。

（業務内容）

（ア）一般投影：広く区民一般向けに実施する。入場料は、指定管理者の収入になります。

（イ）学習投影：区内の保育園、幼稚園、小・中学校からの申し込みがあったときに無料で実施することとします。

※注意事項

前述のとおり、現在使用しているプラネタリウム投影機の耐用年数は超過しているため、万が一、指定期間途中で故障した場合、修理不能となる可能性もあります。使用可能の間は通常営業とし、イベント等の企画・立案・実施をすることとします。故障の際は、中野区と別途協議します。

イ こども向けの体験型学習事業

年12コース以上

実際の体験を通して、こどもの知的好奇心を育てる、質の高い事業を提供することとします。

- ・会場：もみじ山文化センター（なかのZERO）科学実験室、美術工芸室等、ほか
- ・対象：区内在住・在学の小・中学生とその保護者等
- ・要件：次のⅠ～Ⅲのすべての要件を満たす体験型事業

Ⅰ あらゆるジャンルの体験や活動を通し、子どもたちの知的好奇心を育て、潜在能力や可能性を引き出せるものであること

Ⅱ 広く一般区民に、子どもたちと共に学びながら体験や活動をする機会を提供し、家庭や地域における教育力の向上を目指すものであること

Ⅲ 異なった学校・学年の子どもたちが一堂に集い体験を共有する中で、お互いに助け合い協力する心と社会性を育て、青少年の健全教育に寄与するものであること

ウ 青少年コーナーの運営

青少年の勉強や活動、育成支援の場となるよう運営すること

エ 区民の主体的な学びの機会の提供と促進

社会教育団体をはじめとした区で活動する団体や個人との協働や連携も視野に入れ、区民の主体的な学びの機会の提供やその担い手の育成に資する事業を実施すること

③ 文化芸術・生涯学習情報発信業務

区民の文化芸術・生涯学習活動を支援するために、SNS・アプリなどの利便性の高い媒体により、文化情報を収集・整理・集約したうえで発信することとします。また、発信した情報のリーチ状況等の分析を行い、随時改善を行うこととします。なお、情報発信にあたっては、適宜中野区と協力のうえ、実施することとします。

令和7年度に区ホームページで開設した「なかのアーティストバンク」について、新た

にホームページを作成し、その運営や登録者と利用者の調整を行うこととします。※区ホームページに公開中の「なかのアーティストバンク」は、指定管理者候補者が新しく作成するホームページが開設次第、閉設する予定です。

※参考（現在行っている事例）

・もみじ山文化センター本館に「文化芸術・生涯学習活動支援コーナー」を設置し、文化芸術・生涯学習関係資料の受入れ・整理、掲示板・展示コーナーを活用した情報提供、地域団体・人材・ボランティア等の支援とコーディネート、生涯学習に関する相談への対応を行っています。

・ウェブサイトによる発信

文化施設の貸室情報、催し等の情報及び区内文化団体・サークル、指導者、区内で予定されている催しなどの情報を総合的に「ないせすアカデミア」「なかの学び場ステーション」において発信しています。

④ 次世代育成に資する文化・芸術の鑑賞・体験機会の充実策に対する対応

子ども育成文化・芸術事業認定制度及び子どもの文化・芸術活動等の活性化のための文化施設利用料金の減額にかかる対応について、中野区との調整及び利用者への周知等、必要な対応を行うこととします。

(2) 【自主事業】

区民の豊かで充実した文化芸術活動に資するよう、施設の設置目的に基づいて事業を企画・実施することとします。なお、次の事項に配慮して実施することとします。

a)一般の利用とのバランスを考慮して日程等を調整すること

b)公演事業は、区民に芸術文化鑑賞の機会を広く提供するとともに、開催する文化施設の設置目的を考慮し、その特性を活かしたものをすること

c)幅広い年齢層を対象とした企画をすること

d)公演等、提供事業のジャンルは偏ることなく、幅広く企画し、区民が様々な文化芸術の世界に触れることが可能となるような企画をすること

(3) その他の業務

指定管理者が行う業務は、地方自治法及び条例、その他の各種法規に規定されているものをはじめ、前述してきたものの他に、以下の①～⑥のとおりとします。

① 事業計画書及び収支予算書の作成

次年度の事業計画書及び収支予算書の作成に当たっては、中野区と調整を図り、事業年度開始日（毎年4月1日）の1か月前までに中野区に提出することとします。なお、事業計画書については、指定事業のみならず自主事業についても作成し、同様に中野区へ提出することとします。

② 事業報告書の作成

ア 月報の提出：施設管理・運営業務の実施状況及び利用状況、実施事業報告、利用料金収入状況等についての月報を作成し、中野区に提出することとします。

イ 事業報告書の提出：施設について毎年度終了後、以下に掲げる事項を記載した当該年度の事業報告書を速やかに中野区に提出してください。当該年度の途中において地方自治法第244条の2第11項の規定により取り消されたときも同様とします。

- ・施設管理・運営業務の実施状況
- ・施設の利用実績

- ・各種指定事業実績
  - ・利用者アンケート（苦情・要望への対応、接客態度、施設の使いやすさについての項目を盛り込むこと）や意見交換会の分析結果
  - ・事業計画時に設定した目標の達成状況
  - ・収支決算（利用料金収入実績、管理運営費の収支状況含む）
  - ・その他中野区が管理運営の状況を把握するために特に必要と認める事項
- 上記事項について事業報告書を作成し、毎年度終了後50日以内に中野区に提出することとします。（指定事業のみならず自主事業についても作成し、同様に中野区へ提出することとします。）

③ 中野区との連絡調整等

- ア 指定管理業務全般（協定内容、事業計画等、予算）についての協議や情報共有の場を設けること（月1回程度）
- イ 「中野区施設予約システム」の運用等について、中野区の求めに応じ、会議に出席する等、必要な対応を行うこと

④ 各種資料等作成業務

- ア 中野区に各種調査、アンケートなどの依頼があった際、中野区の求めに応じ、関連資料の提出等を求めます。また、調査等の内容により、指定管理者から直接回答・報告をすることが適当と中野区が判断した場合も同様とします。
- イ 上記のほか、指定管理業務に関連する資料等を中野区の指示により作成することとします。

⑤ 指定管理者に対する監査

地方自治法の規定により、指定管理者が行う公の施設の管理業務に係る出納関連の事務について、中野区監査委員が監査を行う場合は、指定管理者はこれに応じ、各書類等について提出しなければならない。

⑥ 第三者評価の実施

施設の管理運営の質やサービス水準、事業の実施状況などについて、指定期間中に1度、原則2～4年目に、第三者によるモニタリングを実施します。
 なお、評価者及び評価内容・項目等については、中野区との協議により決定します。

⑦ 引継ぎ業務

事務引継ぎ等にかかる費用については、指定管理者候補者及び指定管理者の負担とします。また、指定期間終了時には、次期の指定管理者が円滑かつ支障なく施設管理運営業務が行えるよう引継ぎを行うものとします。

6 留意事項

(1) 施設の運営に関する留意事項

会員となることで、チケットが一般よりも安く購入できる「ホールメイト会員」の制度があります。本制度に関わらず利用者の増加、利用料金収入の増加につながる提案も求めます。

なお、現指定管理者が収集した個人情報を引き継ぐ場合は、本人に確認する必要があります。その方法及び経費の負担等については、新旧の指定管理者双方が協議するものとします。

(2) 緊急時の対応

- ① 施設での火災、犯罪等の発生防止に努め、財産の保全を図るとともに利用者の安全確保に努めることとします。
- ② 地震・火災等の災害の発生、及び施設利用者・入館者等の傷病・事故等の発生に備えて、対応マニュアルを定め、日ごろから訓練を行うなどの態勢を整えることとします。
- ③ 施設又は施設利用者に事故が生じたときは、迅速かつ適切な対応を行い、速やかに中野区へ報告することとします。
- ④ もみじ山文化センター本館及びなかの芸能小劇場（社会福祉会館）は、大地震等大規模災害時には、本庁舎の代替施設となる場合があります。また、もみじ山文化センター本館については、区と一時滞在施設の協定を締結していただきます。なお、本館が改修工事等で休館となり、一時滞在施設として使用できない場合における対応については、中野区と協議することとします。

(3) 環境への配慮

① 環境への配慮

中野区は環境マネジメントシステムを構築し、中野区本庁舎及び庁外施設の組織が行う事業活動における環境保全の推進、環境負荷の低減に関する行動を適切に実行することとしています。文化施設においても、管理運営業務の遂行にあたっては「中野区環境マネジメントシステムにおける方針」の趣旨の理解に努め、地球環境保全に十分配慮するものとします。

② 中野区環境マネジメントシステムの運用への協力

環境マネジメントシステムの適用範囲となるため、区の環境管理マニュアルに基づき、区と共に事業全体における環境負荷の測定・軽減に積極的に取り組むこととします。

(4) 高齢者及び障害者の雇用促進並びに障害者就労施設等からの物品等の調達の推進への配慮

施設の管理運営にあたっては、「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律（昭和46年法律第68号）」、「障害者の雇用の促進等に関する法律（昭和35年法律第123号）」、「国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律（平成24年法律第50号）」の趣旨を踏まえ、高齢者や障害者の雇用の促進並びにシルバー人材センター及び障害者施設、高齢者や障害者を多数雇用する企業等からの物品やサービスの調達への配慮を行うものとします。

(5) 高齢の方、障害のある方、日本語を母語としない方への配慮

情報保障を担保するため、それぞれの特性に応じた配慮（字幕や手話通訳等）及び環境を保持すること。

(6) 不当な差別的取扱いの禁止および合理的配慮の提供

施設運営にあたっては、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の趣旨を踏まえ、障害を理由として障害者でない者と不当な差別的取扱いをすることにより、障害者の権利利益を侵害してはいけません。また、障害者から現に社会的障壁の除去を必要と

している旨の意思の表明があった場合において、その実施に伴う負担が過重でないときは、障害者の権利利益を侵害することとならないよう、当該障害者の性別、年齢および障害の状態に応じて、社会的障壁の除去の実施について必要かつ合理的な配慮を行うものとしてします。

(7) 施設賠償責任保険等の加入

指定管理者には施設賠償責任保険及び第三者賠償責任保険への加入を義務付けます。補償内容は中野区が加入している特別区自治体総合賠償保険の補償と同等以上のものとしてします。

(別紙1) 文化施設の概要

1 もみじ山文化センター (なかのZERO)

所在地 : 中野区中野二丁目9番7号

開館日 : 本館 平成5 (1993) 年7月23日

西館 昭和47 (1972) 年11月3日

規模 : 本館 地下3階 地上4階 延床面積 18,232 m²(図書館部 4,480 m²含む)

西館 地下1階 地上4階 延床面積 6,589 m² 計 24,821 m²

利用時間 : 午前9時~午後10時

休館日 : 2月、6月、11月の第4月曜(休日にあたる時はその翌日)

年末年始 (12月29日~1月3日)

貸出施設		規模 (m ²)	定員 (名)	備考
本館	大ホール	2,731	1,292	楽屋6室
	リハーサル室	135		
	多目的練習室	66		更衣室・シャワー室除く
	視聴覚ホール	180	100	
	音楽練習室 (2室)	72		1室は 36 m ²
	展示ギャラリー	84		
	アトリエ DONGURI	229		貸出対象外
西館	小ホール	1,037	501	楽屋3室
	プラネタリウム	289	180	
	学習室1	153	100	
	学習室2	101	60	
	学習室3 (絵画)	76	50	
	学習室4	118	65	
	学習室A	66	40	
	学習室B	64	40	

和室	62	30	
美術工芸室	95	30	
科学実験室	95	30	
音楽室（合唱）	80	40	
美術ギャラリー（2室）	280		

※ 維持管理業務については、この他、中央図書館及び地下3階駐車場を含みます。詳細は、参考資料の「文化施設面積表」を参照してください。

2 野方区民ホール

所在地：中野区野方五丁目3番1号

開館日：平成5（1993）年10月22日

規模：野方W I Z地下1・2階部分 延床面積 1,644㎡
野方区民活動センター 地上1～3階部分 延床面積 1,907㎡

利用時間：午前9時～午後10時

休館日：毎月第2月曜日（休日にあたるときはその翌日）
年未年始（12月29日～1月3日）

貸出施設	規模	定員	備考
ホール	755㎡	248名	楽屋（42㎡） 準備室（36㎡）

※ 1階に舞台搬入口兼格納庫（69㎡）があり、区民活動センターでも一部使用する場合があります。

※ 維持管理業務については、野方区民活動センターを含みます。詳細は、参考資料の「文化施設面積表」を参照してください。

3 なかの芸能小劇場

所在地：中野区中野五丁目68番7号

開館日：平成7（1995）年2月16日

規模：スマイルなかの2階部分 延床面積 556㎡

利用時間：午前9時～午後10時

休館日：毎月第3月曜日（休日にあたるときはその翌日）
年未年始（12月29日～1月3日）

貸出施設	規模	定員	備考
ホール	164㎡	110名	楽屋（16㎡）

※ 維持管理業務については、参考資料の「文化施設面積表」を参照してください。